



2021年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月29日

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 コード番号 3035 URL <https://www.ktk.gr.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2021年7月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 青山 英生
 (氏名) 武井 修
 TEL 052-931-1881

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年8月21日～2021年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	13,063	2.9	436	39.4	461	38.7	329	29.1
2020年8月期第3四半期	12,698	1.0	313	12.6	332	10.1	255	22.7

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 346百万円 (54.7%) 2020年8月期第3四半期 223百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	61.36	
2020年8月期第3四半期	45.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	9,169	3,412	37.2
2020年8月期	8,447	3,124	37.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 3,412百万円 2020年8月期 3,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		0.00		11.00	11.00
2021年8月期		0.00			
2021年8月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年8月21日～2021年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	0.9	330	3.9	352	2.3	246	5.3	45.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期3Q	5,725,000 株	2020年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	2021年8月期3Q	357,886 株	2020年8月期	357,886 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期3Q	5,367,114 株	2020年8月期3Q	5,614,591 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年8月21日～2021年5月20日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を最優先に講じるなか、各種政策の効果や海外経済の改善により持ち直しの動きがみられた一方で、一部では弱さが増しており、依然として厳しい状況で推移いたしました。今後も内外の感染拡大による下振れリスクの高まりや金融資本市場の変動等の影響には十分注意する必要があります、尚も先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境において、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動に一部制約が出たことや、在宅勤務やペーパーレス化の動きに伴うプリンター使用量の減少はあったものの、基盤事業であるリサイクルトナー等の出荷は堅調に推移しました。また、DXの推進で関心の高まる業務の効率化やテレワーク、WEB会議に対応するネットワーク機器、セキュリティ機器等のITソリューション商品・サービス、並びに感染症対策で高い需要が続く除菌消毒液や飛沫防止パネル、空気清浄機等の環境・衛生商品の拡販(連結子会社の増加を含む)が、引き続き順調に推移したことにより、前年同四半期並みの売上高を確保すると共に、利益については大幅に上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,063,061千円(前年同四半期比2.9%増)、営業利益は436,305千円(前年同四半期比39.4%増)、経常利益は461,727千円(前年同四半期比38.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は329,356千円(前年同四半期比29.1%増)となりました。

なお、連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

また、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ721,551千円増加し、9,169,321千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ718,347千円増加し、6,368,498千円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が981,037千円増加し、現金及び預金が339,013千円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,204千円増加し、2,800,822千円となりました。これは、主に投資その他の資産が15,282千円増加し、有形固定資産が11,279千円減少したこと等によります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ559,084千円増加し、5,264,332千円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が419,247千円、短期借入金が333,320千円増加し、電子記録債務が172,638千円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ124,796千円減少し、492,965千円となりました。これは、主に長期借入金が127,435千円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ287,264千円増加し、3,412,023千円となりました。これは、主に利益剰余金が270,318千円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2021年3月29日に公表しました連結業績予想より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,715,282	2,376,268
受取手形及び売掛金	2,352,859	3,333,896
商品及び製品	460,136	485,812
仕掛品	247	244
原材料及び貯蔵品	77,722	77,016
その他	51,854	97,168
貸倒引当金	△7,952	△1,907
流動資産合計	5,650,151	6,368,498
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,150,441	1,150,441
その他(純額)	531,699	520,419
有形固定資産合計	1,682,140	1,670,860
無形固定資産		
のれん	68,355	64,083
その他	30,736	34,209
無形固定資産合計	99,091	98,293
投資その他の資産		
その他	1,049,890	1,042,237
貸倒引当金	△33,504	△10,568
投資その他の資産合計	1,016,386	1,031,668
固定資産合計	2,797,618	2,800,822
資産合計	8,447,769	9,169,321

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,450,004	1,869,251
電子記録債務	1,580,938	1,408,300
短期借入金	1,073,239	1,406,559
未払法人税等	85,247	107,785
賞与引当金	98,430	62,285
役員賞与引当金	15,850	—
その他	401,537	410,150
流動負債合計	4,705,247	5,264,332
固定負債		
長期借入金	248,942	121,507
役員退職慰労引当金	57,420	69,468
退職給付に係る負債	123,944	124,100
その他	187,455	177,888
固定負債合計	617,761	492,965
負債合計	5,323,009	5,757,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	663,325	663,325
利益剰余金	2,177,628	2,447,946
自己株式	△131,932	△131,932
株主資本合計	3,003,696	3,274,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,063	138,009
その他の包括利益累計額合計	121,063	138,009
純資産合計	3,124,759	3,412,023
負債純資産合計	8,447,769	9,169,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月21日 至 2020年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月21日 至 2021年5月20日)
売上高	12,698,630	13,063,061
売上原価	10,063,141	10,269,522
売上総利益	2,635,489	2,793,539
販売費及び一般管理費	2,322,457	2,357,233
営業利益	313,031	436,305
営業外収益		
受取利息	452	270
受取配当金	13,800	10,990
仕入割引	27,017	30,273
受取家賃	32,831	34,485
その他	9,976	8,892
営業外収益合計	84,078	84,912
営業外費用		
支払利息	5,783	4,110
売上割引	49,486	47,609
その他	9,047	7,769
営業外費用合計	64,317	59,490
経常利益	332,792	461,727
特別利益		
保険解約益	—	2,504
投資有価証券売却益	32,822	21,211
負ののれん発生益	6,039	—
特別利益合計	38,861	23,715
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,427
特別損失合計	—	1,427
税金等調整前四半期純利益	371,654	484,015
法人税、住民税及び事業税	131,898	167,707
法人税等調整額	△15,360	△13,048
法人税等合計	116,537	154,659
四半期純利益	255,116	329,356
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	255,116	329,356

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月21日 至 2020年5月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年8月21日 至 2021年5月20日)
四半期純利益	255,116	329,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,279	16,946
その他の包括利益合計	△31,279	16,946
四半期包括利益	223,837	346,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,837	346,302
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

《簡便的な会計処理》

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③ 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。